

pickup news

貝塚の魅力を全国へ！

縄文シティサミット in とうや湖実行委発足



1. 復元された入江貝塚の竪穴住居 2. 抱負を述べる神馬実行委員長 3. サミットについて協議した実行委 4. 大量のホタテが埋まる高砂貝塚



今年10月7、8日の2日間にかけて、町内で開催が予定されている「縄文シティサミットinとうや湖」に向け、第1回実行委員会が開かれました。アプタ・フレナイの会会長の神馬久夫さんが実行委員長に就任し、サミットの概要や実行委の体制を確認しました。

縄文シティサミットは、縄文都市連絡協議会に加盟する19市町の交流などを目的に開かれており、洞爺湖町での開催は15年ぶりとなります。今回は、縄文文化の専門家による基調講演や、入江・高砂貝塚の現地視察などが予定されています。

実行委員会では、下道町長が「縄文遺跡を活用した地域振興に努めます」とあいさつし、神馬委員長は「町民としてサミットに携われるのはうれしいです」と抱負を述べました。今後は、プレサミットとして「こどもの日縄文体験」（5月5日）、「とうや湖縄文まつり」（7月15日）などが行われます。

ワンポイント 手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第63回は健康福祉課大家鉄生です。

■問合せ 健康福祉課福祉支援係
(☎ 76-4006)



両手を軽く握って交差し、手の甲を前に向けてから
手首をひねって手のひら側を前に向けます